



スペインの巡礼路と四国の遍路道を通じた交流を話し合う
モリナセカ町のバルボア町長（左から2人目） 高松市

スペインの町長ら香川知事表敬

「お遍路」で文化交流

世界遺産で知られる「サ
ンティアゴ・デ・コンポス
テラの巡礼路」にあるス
ペイン北部のモリナセカ町
のアルフォンソ・アリアス
・バルボア町長らが8日、
香川県の浜田恵造知事を表
敬訪問。四国霊場八十八カ
所の遍路道の世界遺産登録
を目指す同県との文化交流
などについて話し合った。

訪れたのはバルボア町長
のほか、NPOモリナセカ
巡礼協会のアルフレッド・

アルバレス・ペレス会長、
レオン県商工会議所のマリ
ア・サンブラノス・ビジャ
代表。

浜田知事は「四国には遍
路という巡拝者をもてなす
文化が残っており、世界遺
産登録に向けての助言をい
ただければ幸い」と話した。

モリナセカ町は昨年6月
から、NPO「遍路とおも
てなしのネットワーク」
（梅原利之理事長）の橋渡
しで、香川県宇多津町と交

流。モリナセカ町内には四
国の遍路を紹介する展示室
がある。

バルボア町長は「文化や
経済など広い範囲で互いの
交流が深まればと思ってい
る」と語った。